



▲坂本龍馬写真
(個人蔵／歴史博物館寄託)

▼荻野流一貫目青銅砲(下関戦争の際、彦島の弟子待台場に置かれた大砲)



慶

応4年(1868)9月8日、元号が「明治」と改められました。今年、明治改元から150周年に当たります。

歴史上、時代が変わる直前には、必ずと言っていいほど、大きな事件が起き、優れた人物が登場しています。明治維新を迎える直前、下関ではどのような事件が起こり、

どんな人たちが下関を舞台に活躍したのでしょうか。

外国との闘い

日本に開国を求めたペリーが来航して以来、国内では外国との関係をめぐり、さまざまな議論が起きていました。そんな中、長州藩は攘夷(外国・外敵を排斥し、国内

に入れなことを唱え、外国船を打ち払うよう訴えます。

文久3年(1863)5月、長州勢は関門海峡を航行する外国船への砲撃を行いました。しかし、翌月には外国から反撃を受け、軍艦を失い、上陸を許すなど攘夷の難しさを痛感します。

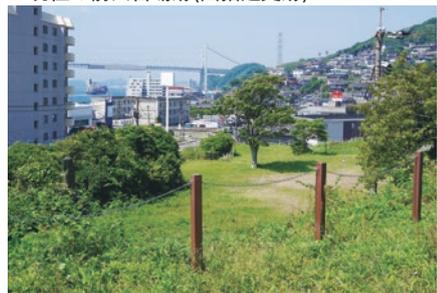
翌年にはイギリス、フランス、

明治維新 百五十年



▲高杉晋作写真(東行記念館蔵)

▼現在の前田台場跡(国指定史跡)



歴史博物館 専用アプリ ワクワク れきはく



歴史を感じてもっとワクワク! そんな思いをかなえる無料のアプリ。

左上の前田台場の写真をこのアプリの「展示物解説」で読み込むと、詳しい説明を読むことができます。ほかにも楽しい機能がいっぱい! ダウンロードして使ってみよう!



オランダ、アメリカの連合艦隊から、大規模な報復攻撃を受けました(下関戦争)。欧米列強の圧倒的な軍事力の前に、わずか数日で敗北した長州藩は、攘夷を改め、近代化を加速させます。

幕府との戦い

関門海峡で攘夷を実行するなど、過激な行動をとる長州藩は、朝廷・幕府・諸藩から大きな反発を受けます。その結果、長州藩は発言力

を失い、政治の中心である京都から追い出されることとなりました。さらに、長州藩を押し付けられるため、幕府率いる大軍(征長軍)が2度にわたり長州に迫るなど、大きな危機を迎えます。

慶応2年(1866)6月、ついに征長軍と長州勢が衝突(幕長戦争)。小倉口では、九州諸藩を中心とした征長軍と激戦が繰り広げられました(小倉口の戦い)。一進一退の攻防が続きましたが、徐々に



▲前田低台場(下関戦争に従軍した写真家のベアトが撮影)。(歴史博物館所蔵)



下関観光ガイドの会
会長 藤嶋 季美枝

私は長府城下町や関門海峡、唐戸周辺などの観光ガイドをしています。最近は、地元の高校や大学からの依頼が増えています。これだけの歴史がある街はなかなかありませんし、私としても、若い人たちに、ぜひ下関の歴史を知ってほしいと思っています。自分たちが暮らす町の歴史を知れば、自然と愛着も湧いてきます。就職や進学で市外に出ても誇りある町下関を自慢できますし、愛着ある地元に戻って暮らしたい、と考える方もいるのではないのでしょうか。下関でも若い人たちの人口が減ってきていますので、大切なことだと思います。

今年は明治維新150年です。これを記念し、通常有料のガイド料を無料にするキャンペーンを行っています。市民の方もご利用できますので、ぜひこれを機に地元の歴史を知り、次の世代に伝えてほしいですね。

●歴史のまち下関観光ガイドキャンペーン
ガイド料(通常2時間3,000円)を無料で行います。
期平成30年12月まで 定700組(先着順/1組15人以上) ※詳細はお問い合わせを
関下関観光コンベンション協会(☎223-1144)

長州勢の勢いに押された征長軍は、やむなく撤退します。征長軍が長州藩に敗れたことは、幕府の衰えを明らかにし、新しい時代へと変わる大きな契機となりました。

晋作の活躍／龍馬と下関

高杉晋作は、文久3年6月、外国からの攻撃を受けた下関の防備を立て直すため、下関竹崎の白石正一郎邸で奇兵隊を結成しました。元治元年(1864)には、わずかな仲間とともに立ち上がり、長州藩が一つにまとまるきっかけをつくります。

慶応2年の幕長戦争では、軍艦を率いて征長軍に攻撃するなど、長州藩を勝利に導きました。

坂本龍馬は、慶応元年(1865)以降、対立していた薩摩藩と長州

藩の仲を取り持つ活動をしており、たびたび下関を訪れるようになります。慶応2年には、小倉口の戦いで、高杉晋作とともに征長軍を軍艦で砲撃しています。また慶応3年(1867)から下関を本拠とし、妻お龍とともに新婚生活を送りました。

歴史の街 下関

このほか紹介できないほど、下関では多くの事件が起き、多くの優れた人物を輩出しています。また、西郷隆盛など、たくさんの方が下関を訪れています。

明治維新から150年。皆さんもこの機会に、下関の幕末維新に触れてみてはいかがでしょうか。

関歴史博物館(☎241-1080)

明治維新150年記念 海峡の幕末維新

幕末から明治にかけて国内各地、そして下関で起きた事件・事象に迫るとともに、その時代を生きた下関の人々の姿を紹介します。
期7月7日～9月2日
料大人500円、大学生300円

- 【関連行事】
- ①ミニ講座=回7月8日、8月26日 午前10時30分～11時30分
- ②れきはくクイズラリー=期7月7日～9月2日 内歴史博物館展示室で、クイズに回答した方へ缶バッジを贈呈します。
- ③子ども向け講座=回7月29日(日)午前10時30分～11時30分 内幕末の長州藩など分かりやすく解説します
- 関歴史博物館(☎241-1080)